

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33105	消費生活の基礎知識 Consumerism	栗田舞		専門	1	選択	1.2後期
科目の概要							
<p>あなたは、自分のことは自分で決めて生活することができていますか。自分の普段の生活を振り返りながら、身近な消費生活でのお金のキホンを学び、よりよい今後の人生設計をたてていきましょう。pisa型学力の3つの力を修得すべく、普段の生活のなかでの課題を解決するために必要な知識・情報を獲得していきましょう。そして、それを適切に活用し、課題を解決しさらには今後の人生において活かしていけるよう展望をたてましょう。</p>							
学修内容				到達目標			
① 「家計のキホン」を理解する。 ② 「経済のキホン」を理解する。 ③ リスクマネジメントを実施する。 ④ 「お金とのおつきあいのキホン」を理解する。				① 「家計のキホン」を理解でき、生活を改善することができる。 ② 「経済のキホン」から、しくみを説明できるようになる。 ③ リスクマネジメントを行ない、その対処方法を挙げることができる。 ④ 「お金とのおつきあいのキホン」を理解し、生活に活かすことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	シラバスを使って、次回の授業内容を確認する。ミニレポート、課題は必ず実行し、提出する(欠席した場合は欠席課題とするので後日提出する)。					
	働きかけ力						
	実行力	ミニレポート、課題は期限内に提出することができる。					
考え抜く力	課題発見力	ミニレポートのテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。					
	計画力						
	創造力	ミニレポート、課題に自分なりの意見を考え、書くことができる。					
チームで働く力	発信力	教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。授業での毎回のミニレポートに自分の疑問、意見を書くことができる。					
	傾聴力	講義は考えながら聴き、大事なことはメモをとりながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：奥田真之、大藪千穂『はじめての金融リテラシー - お金のキホンを身につけよう！』（株式会社 昭和堂、2018）、1,800円＋税							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「マーケティング」、「企業経営のしくみ」（ビジネススタディ・ユニット） 資格との関連：ビジネス実務士							
学修上の助言				受講生とのルール			
① 受講生の参加（授業中の発言、ミニレポートの記入）を求め、評価に反映する。 ② 授業で学んだことを基に、自分の周り（新聞、テレビ、インターネット等含む）にある消費経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。				・提出物は意欲的に取り組み、必ず提出すること。 ・授業は受け身でなく自らも消費者であることを自覚し、主体的に物事を考え受講すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		20	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
		レポート		70	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
④					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①			
				②			
	③						
	④						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)：自分自身の消費生活の改善提案を行うことができる（ミニレポート、課題を作成することができた。）</p> <p>A(優)：授業で紹介した消費生活の事例を調査、分析することができる（ミニレポート、課題を作成することができた。）</p>	<p>B(良)：授業で紹介した消費者生活の事例について説明することができる（小テストで該当する設問（記述式）に答えることができた）</p> <p>C(可)：各週の講義のC(可)の達成基準の設問を説明することができる（小テストで該当する設問（選択式、用語記入式）に答えることができた）</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 「家計のキホン①」 預金、貯金、貯蓄、黒字の違いを知る	講義	・預金、貯金、貯蓄、黒字の違いを理解する。	(復習) 預金、貯金、貯蓄、黒字の違いをミニレポートにまとめる。 自分の支出内訳を調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	「家計のキホン②」 家計簿をつくる エンゲル係数とはなにか	講義 復習課題については授業内で解説する。	・家計簿になにを記入するか理解する。	(予習) 教科書P12～24を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習) エンゲル係数とは何かをミニレポートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	「家計のキホン③」 ひとり暮らしにはどのくらいのお金が必要なのか おこづかいが必要なのか	講義 レポート①の内容をグループワークで話し合う。 復習課題については授業内で解説する。	・ひとり暮らしにはどのくらいのお金が必要なのかを明らかにする。	(予習) 教科書P25～28・35を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習) ひとり暮らしにはどのくらいのお金が必要なのか レポート①	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	「家計のキホン④」 給与明細の読み方 サラリーマンの生活はどのようなものか	講義 レポート②の内容をグループワークで話し合う。 レポート①の返却(評価観点に基づき、助言を行う。再提出が必要であれば指示する。) 復習課題については授業内で解説する。	・給与明細の読み方を理解する。	(予習) 教科書P29～37を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習) 給与明細の読み方のポイントをミニレポートにまとめる。 求人票を読み取る レポート②	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	「家計のキホン⑤」 賃貸住宅と一戸建ては、どちらがお得なのか	講義 グループワーク レポート②の返却(評価観点に基づき、助言を行う。再提出が必要であれば指示する。) 復習課題については授業内で解説する。	・賃貸住宅と一戸建ては、どちらがお得なのかを理解する。	(予習) 教科書P38～41を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習) 賃貸住宅と一戸建ては、どちらがお得なのかメリットデメリットをミニレポートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	「家計のキホン⑥」 共働きの生活スタイル ライフイベントにかかるお金	講義 グループワーク 復習課題については授業内で解説する。	・共働きの生活スタイルを理解する。	(予習) 教科書P42～51を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習) ライフイベントにかかるお金をミニレポートにまとめる。 人生設計をたてる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	「家計のキホン⑦」 教育にかかるお金を考える	講義 グループワーク 復習課題については授業内で解説する。	・自分が大きくなるまでに、どのくらいの教育費がかかっているかを理解する。	(予習) 教科書P54～58を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習) 教育にかかるお金を理解し、どのように貯めたらいいのかを考え、ミニレポートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	「家計のキホン⑧」 さまざまな家族スタイルの生活経済	講義 復習課題については授業内で解説する。	・さまざまな家族スタイルの生活経済を理解する。	(予習) 教科書P61～64を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習) さまざまな家族スタイルの生活経済を理解し、自分の将来設計をたてる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「経済のキホン」 物価をみる指標、デフレ・インフレ	講義 復習課題については授業内で解説する。	・デフレ・インフレを説明できる。	(予習)教科書P76～79・103～104を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習)物価をみる指標、デフレ・インフレとはなにを指すかミニレポートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	「リスクに備えるキホン①」 社会保障を理解する、社会人に必要な保険	講義 グループワーク 復習課題については授業内で解説する。	・社会保障を理解する、社会人に必要な保険を考える。	(予習)教科書P97～102を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習)社会保障を理解し、社会人に必要な保険を考えてミニレポートにまとめる。そして今後の将来設計をたてる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「リスクに備えるキホン②」 国民年金制度のしくみ	講義 復習課題については授業内で解説する。	・国民年金制度のしくみを理解する。	(予習)教科書P105～110を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習)国民年金制度のしくみを理解し制度を考え、自分の意見をミニレポートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	「リスクに備えるキホン③」 借金をするということ、救済制度について	講義 復習課題については授業内で解説する。	・借金の様々な側面を理解する。	(予習)教科書P113～120を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習)救済措置をミニレポートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	「リスクに備えるキホン④」 老後の生活について考える、介護に必要な金額	講義 グループワーク 復習課題については授業内で解説する。	・老後の生活について考える。	(予習)教科書P121～124・128～130を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習)老後の生活について考え、介護に必要な金額を想定しミニレポートにまとめる。自分の将来設計をたてる。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
14	「リスクに備えるキホン⑤」 相続対策について	講義 復習課題については授業内で解説する。	・相続について理解する。	(予習)教科書P131～134を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習)相続について理解し、法定相続の計算問題を解く。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	消費者信用について クレジットカードのしくみ	講義 小テストの実施・返却 (返却されたものを見て、見直しを行う。)	・自分の消費生活を省みて、改善点を考える。	(予習)教科書P151～157を読み、内容理解と質問があれば考える。 (復習)消費者信用について理解し、クレジットカードのしくみをミニレポートにまとめる。今後の将来設計をたてる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力